

早稲田大学 社会科学総合学術院 専任教員募集要項

1. 募集内容	早稲田大学 社会科学総合学術院 専任教員												
2. 募集科目	国際協力論												
3. 勤務形態	常勤 ※本学の定年は 70 歳												
4. 採用日	2027 年 4 月 1 日または 2027 年 9 月 1 日（もしくはそれ以降で合意できる日）												
5. 受入資格	教授（任期なし）、准教授（任期なし）、専任講師（任期なし）、准教授（テニュアトラック）、または講師（テニュアトラック） ＊採用身分は、候補者の教育および学術研究の業績と本審査における評価をもとに決定します。 ＊当学術院のテニュアトラック制度の概要（※詳細については第二次選考以降に説明します。） 当学術院のテニュアトラック教員は、准教授（テニュアトラック）もしくは講師（テニュアトラック）として採用され、1 期目 3 年、再任 2 年×2 回の最大 7 年の任期となります。原則として、中間審査は 1 期目 3 年度目の後半セメスター（第 6 セメスター）に行い、1 期目のうちに完了します。中間審査に合格すると、2 年間の再任を行います。原則として、最終審査は着任 5 年度目の後半セメスター（第 10 セメスター）に行い、5 年度目終了までに完了します。最終審査に合格すると翌セメスター以降、任期の定めのない教員となります。最終審査に不合格となった場合も、2 年間の再任を行う場合があります。テニュアトラック教員が希望する場合は、2 年度目後半セメスター（第 4 セメスター）以降、中間審査または最終審査の申請が可能です。 なお、中間審査または最終審査の終了前に出産休暇および育児休職を取得した場合、大学の承認を前提に、テニュアトラック教員としての任期は、継続在職期間の合計が 10 年を超えない限度で、当該出産休暇および育児休職に相当する期間、延長することができます。 ＊資格にかかわらず 2013 年 4 月 1 日以降に本学と雇用契約があり、今回の採用日までの間に原則として半年間以上の雇用契約を締結していない期間がない場合、継続雇用契約期間に上限があります。そのため、契約期間や再任用の有無・期間について、上記に満たない場合があります。												
6. 就業場所	原則として、早稲田大学各キャンパス												
7. 待遇	<table border="1"> <tr> <td>・勤務時間等</td><td>所定労働日および勤務時間（始業・終業時刻、休憩時間）等は、本学規程による。なお、専門業務型裁量労働制を適用し、研究業務の性質上、業務遂行の手段及び時間配分の決定等については本人の裁量に委ねるものとする。</td></tr> <tr> <td>・給与</td><td>本学規程による。</td></tr> <tr> <td>・諸手当</td><td>本学規程による。</td></tr> <tr> <td>・休日</td><td>日曜日および、年末年始、国民の祝日、臨時の休日、大学創立記念日。ただし、大学があらかじめ授業を実施すると定めた日を除く。</td></tr> <tr> <td>・休暇</td><td>労働基準法等法令に定められた休暇および、大学が特に定めた日とする。（夏季・冬季一斉休業、等）</td></tr> <tr> <td>・社会保険</td><td>厚生年金、健康保険、労災保険、雇用保険に加入する。</td></tr> </table>	・勤務時間等	所定労働日および勤務時間（始業・終業時刻、休憩時間）等は、本学規程による。なお、専門業務型裁量労働制を適用し、研究業務の性質上、業務遂行の手段及び時間配分の決定等については本人の裁量に委ねるものとする。	・給与	本学規程による。	・諸手当	本学規程による。	・休日	日曜日および、年末年始、国民の祝日、臨時の休日、大学創立記念日。ただし、大学があらかじめ授業を実施すると定めた日を除く。	・休暇	労働基準法等法令に定められた休暇および、大学が特に定めた日とする。（夏季・冬季一斉休業、等）	・社会保険	厚生年金、健康保険、労災保険、雇用保険に加入する。
・勤務時間等	所定労働日および勤務時間（始業・終業時刻、休憩時間）等は、本学規程による。なお、専門業務型裁量労働制を適用し、研究業務の性質上、業務遂行の手段及び時間配分の決定等については本人の裁量に委ねるものとする。												
・給与	本学規程による。												
・諸手当	本学規程による。												
・休日	日曜日および、年末年始、国民の祝日、臨時の休日、大学創立記念日。ただし、大学があらかじめ授業を実施すると定めた日を除く。												
・休暇	労働基準法等法令に定められた休暇および、大学が特に定めた日とする。（夏季・冬季一斉休業、等）												
・社会保険	厚生年金、健康保険、労災保険、雇用保険に加入する。												
8. 主な担当業務(予定)	応募者の能力・経験等に応じて決定します。主な担当業務は以下のとおりです。 ・社会科学部において、主たる担当科目「国際協力論」（使用言語：日本語）の他に、平和構築に関する科目などや英語プログラムの関連科目（使用言語：英語）など、専門分野に応じた科目の授業担当。 ・海外での実践的な学びのための実習科目（学生引率も含む）の授業担当、海外の大学や NGO とのネットワーク形成など。 ・その他、本学規程に定める教育、研究、大学運営および社会貢献に関する業務。												

9. 応募資格	次の(1)～(3)のすべてを満たす者。なお、日本語を母語としない者が応募する場合は、校務遂行に支障のない日本語運用能力を有することが求められる。 (1) 原則として、2027年4月1日または2027年9月1日（もしくはそれ以降で合意できる日）に本学に就任可能な者（ただし2027年9月1日以降を希望する場合は応相談）。 (2) 博士号取得者。もしくはそれと同等の教育研究業績を有する者。 (3) 日本語および英語で授業のできる者。
10. 応募方法	以下の URL から必要事項を入力の上、1)～6) の応募書類を PDF 形式で提出してください。 https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=7Ha54pgMw4QMNbfCm1e83w
1) 早稲田大学履歴書	所定書式
2) 教育研究業績	所定書式 I～IV
3) 著書・論文等	募集領域または専門分野に関する主要なもの 5 編以内（上・下等の分冊は 1 編と見なす） ※既発表または掲載が証明されたものに限る。 ※査読がなされた論文は、査読証明または投稿規程を添付すること。
4) 研究計画書	今後の研究計画の概要（A4 横書、日本語 1,000 字または英語 500 語程度）
5) 教育計画書	本学での教育に対する抱負（A4 横書、日本語 1,000 字または英語 500 語程度）
6) 最終学歴証明書	学位記の写しでも代替可。
※追加書類等の提出を求めています。	
※所定書式は以下の URL から入手してください。	
https://waseda.box.com/v/new-cv	
※応募書類のうち、書籍など PDF 形式で提出することができないものは、現物を末尾の宛先まで送付してください（応募受付期間内必着）。	
封筒に『専任教員応募書類在中（募集科目：国際協力論）』と朱記の上、書留郵便や宅配便等の追跡可能な方法で送付してください。直接の持込は受け付けられません。	
※応募書類は、原則として返却しません。ただし、書籍などの現物のみ返送いたしますので、返却を希望する場合は住所等の送付先情報を記入済みのレターパックを同封してください。	
11. 応募受付期間	2026 年 2 月 11 日(水)～2026 年 4 月 3 日(金)17:00
12. 選考	(1) 書類審査 審査結果は 2026 年 6 月 5 日(金)までに通知します。 (2) 面接審査① 書類審査通過者のみ、下記日程にて実施します。 ◆2026 年 6 月 18 日(木)（予定） ※日程は変更となる場合があります。 ※交通費、宿泊費等の経費は応募者の自己負担とします。 なお、オンラインによる事前面接を実施する可能性があります。 (3) 面接審査②（テニユアトラックの場合のみ） 面接審査①通過者のみ実施します。 日程等詳細は個別に通知いたします。
13. 問合せ先	〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1 早稲田大学 社会科学総合学院院務所 学務係（教員人事担当） E-mail: socsaca@list.waseda.jp ※問合せは、原則メールのみにて受付・回答します。 ※審査結果に関する問合せには回答できません。

早稲田大学は、ダイバーシティ&インクルージョンの実現を推進しています。教員採用・昇進の人事審査において、性別、障がい、性的指向・性自認、国籍、エスニシティ、信条、年齢を理由とするいかなる差別も行わないことを申し合わせています。